

患者調査の方法の検討

—副傷病の取り扱い方法に関する課題の検討と提言—

研究協力者	川戸 美由紀	藤田保健衛生大学医学部衛生学講座講師
	三重野牧子	自治医科大学情報センター医学情報学准教授
	山田 宏哉	藤田保健衛生大学医学部衛生学講座助教
研究代表者	橋本 修二	藤田保健衛生大学医学部衛生学講座教授

研究要旨 患者調査における副傷病の取り扱い方法について、課題の整理と解析を行い、必要に応じて提言をまとめることを目的とした。2年計画の最終年度として、昨年度に実施した課題の整理等の結果を踏まえ、1996～2014年患者調査を利用して解析・検討した。副傷病あり割合の高さから、副傷病の現行の調査方式（調査対象の副傷病ごとに有無を調査）と調査対象の副傷病（糖尿病、脂質異常症、高血圧など）の妥当性が示唆された。副傷病の集計表について集計項目を確認し、その適切性が示唆された。以上の検討結果を総括し、患者調査に対して、副傷病の取り扱い方法に関する4項目を提言した。すなわち、『(1) 傷病の合併状況把握の重要性から、患者調査では引き続き、副傷病を調査する。(2) 副傷病の調査方法として、平成20年以降の患者調査の方式が適切であり、平成29年以降もこの方式を採用する。(3) 調査対象の副傷病として、平成26年患者調査の傷病は適切である。調査対象を追加する場合、慢性閉塞性肺疾患、骨粗しょう症、認知症などが候補となる。(4) 平成26年患者調査の副傷病に関する集計表は適切であり、引き続き表章する。』であった。

A. 研究目的

厚生労働省の患者調査は最も主要な傷病統計であり、受療率や総患者数などが表章されている。患者調査を方法面からみると、一日患者数の推計方法や主傷病の取り扱い方法には特別な課題が見当たらないが、総患者数の推計方法や副傷病の取り扱い方法には重要な検討課題があると考えられる。

副傷病の取り扱い方法に関して、近年、副傷病の調査方法が変更されている。最新の患者調査では、糖尿病、脂質異常症、高血圧症など、いくつかの副傷病を選定して調査されているが、その疾患の選定の適切性には検討の余地がある。

本研究の目的としては、副傷病の取り扱い方法について、課題の整理と解析を行い、必要に応じて患者調査への提言をまとめることである。昨年度は2年計画の初年度として、副傷病の取

り扱い方法の課題の整理と副傷病に関する解析の一部を実施した。課題としては、副傷病の集計方法と調査方法に大別された。副傷病の調査方法としては、傷病名1つを調査（1999年以前：旧方式）、特定傷病の有無を調査（2008年以降：現方式）が代表的であり、現方式では調査対象傷病の選定が課題と整理された。本年度は最終年度として、昨年度の検討結果を踏まえ、副傷病に関して1996～2014年患者調査を利用した解析、集計表の検討を行うとともに、患者調査に対する副傷病の取り扱い方法に関する提言をまとめた。

B. 研究方法

副傷病に関する解析では、基礎資料として、1996・1999・2008・2011・2014年の患者調査を統計法第33条による調査票情報の提供（厚

生労働省発統 0829 第 1 号、平成 28 年 8 月 29 日)を受けて利用した。解析対象としては、歯科診療所の患者を除き、病院と一般診療所の患者とした。年次ごとに、主傷病と副傷病の推計患者数を算定した。また、2008・2011・2014 年(現行の調査方式)では副傷病の重複状況を、1996・1999 年(過去の調査方式)では副傷病の傷病大分類別の推計患者数を算定した。なお、2002・2005 年の患者調査では副傷病が調査されていない。

副傷病に関する集計表の検討では、最新の 2014 年の患者調査における副傷病に関する集計表の集計項目を確認した。

昨年度と本年度のすべての検討結果を総括して、患者調査に対する副傷病の取り扱い方法に関する提言をまとめた。

(倫理面への配慮)

本研究では、連結不可能匿名化された既存の統計資料のみを用いるため、個人情報保護に係る問題は生じない。

C. 研究結果

1. 副傷病に関する解析

表 1-1～表 1-5 にそれぞれ、2014 年、2011 年、2008 年、1999 年、1996 年の主傷病と副傷病の推計患者数を示す。2014 年において(表 1-1)、主傷病の推計患者数は全傷病 719 万人であり、糖尿病 24 万人、高脂血症 14 万人、高血圧 68 万人などが多く、一方、肥満、大動脈疾患などが 1 万人未満と少なかった。主傷病または副傷病ありの推計患者数に対する、副傷病の推計患者数の割合は全傷病 65%であり、糖尿病 72%、高脂血症 85%、肥満 97%などが大きく、一方、脳卒中 42%、慢性腎不全 43%などが小さかった。2011 年と 2008 年の傾向は 2014 年とほぼ同様であった。

1999 年において(表 1-4)、2014 年に比べると、主傷病の推計患者数は全傷病 717 万人、糖尿病 23 万人、高血圧 67 万人、脳卒中 36 万人などが同程度または比較的多いであり、一方、

高脂血症 10 万人、慢性腎不全 8 万人などが比較的少なかった。主傷病または副傷病ありの推計患者数に対する、副傷病の推計患者数の割合は、2014 年に比べて小さく、全傷病 37%、糖尿病 36%、高脂血症 59%、脳卒中 19%などであった。1996 年の傾向は 1999 年とほぼ同様であった。

表 2-1～表 2-3 にそれぞれ、2014 年、2011 年、2008 年の副傷病の重複状況別、推計患者数を示す。2014 年において(表 2-1)、他の副傷病ありの割合は全傷病 40%であり、糖尿病 87%、高脂血症 84%、高血圧 86%などであった。副傷病が糖尿病において、他の副傷病ありの推計患者数に対する割合は、高脂血症 32%、高血圧 50%、虚血性心疾患 16%、精神疾患 12%、その他の疾患 76%などであった。2011 年と 2008 年の傾向は 2014 年とほぼ同様であった。

表 3-1-1・2 と表 3-2-1・2 にそれぞれ、1999 年、1996 年の主傷病と副傷病の推計患者数を傷病大分類別に示す。1999 年において、主傷病または副傷病ありの推計患者数に対する、副傷病の推計患者数の割合は、貧血 55%、虚血性心疾患 39%、気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患 34%、胃炎及び十二指腸炎 46%、肝疾患 40%、骨の密度及び構造の障害 58%などが大きく、一方、悪性新生物 16%、統合失調症等 2%、中耳炎 17%、喘息 16%、骨折 15%などが小さかった。1996 年の傾向は 1999 年とほぼ同様であった。

2. 副傷病に関する集計表の検討

表 4 に、患者調査に表章された 2014 年の副傷病に関する集計表の集計項目を示す。集計表としては、副傷病と主傷病(傷病中分類)をクロス集計した入院・外来別推計患者数が含まれていた。それ以外に、3 疾患(糖尿病、高血圧(症)と脂質異常症)のそれぞれとそれ以外の傷病の組み合わせによる主傷病及び副傷病でみた推計患者数、および、3 疾患とそれ以外の傷病の組み合わせによる主傷病及び副傷病でみた推計退院患者数などであった。

3. 副傷病の取り扱い方法に関する提言

表5に、患者調査に対する副傷病の取り扱い方法に関する提言を示す。提言としては、4項目からなった。「(1) 傷病の合併状況把握の重要性から、患者調査では引き続き、副傷病を調査する。」、「(2) 副傷病の調査方法として、平成20年以降の患者調査の方式（調査対象の副傷病ごとに有無を調査）が適切であり、平成29年以降もこの方式を採用する。」、「(3) 調査対象の副傷病として、平成26年患者調査の傷病は適切である。調査対象を追加する場合、慢性閉塞性肺疾患、骨粗しょう症、認知症などが候補となる。」、「(4) 平成26年患者調査の副傷病に関する集計表は適切であり、引き続き表章する。」であった。提言の主な理由を表5に示した。

D. 考察

昨年度に、副傷病の取り扱い方法の課題を整理した。課題としては、副傷病の集計方法と調査方法に大別された。副傷病の調査方法には現方式（特定傷病の有無を調査）と旧方式（傷病名1つを調査）が代表的であり、また、現方式では調査対象傷病の選定が課題であると整理した。

副傷病に関するいくつかの解析を、1996～2014年の患者調査を利用して実施した。副傷病あり割合の高さからみて、副傷病の調査方法として、現方式について、旧方式に比べての優越性が示され、また、妥当性が示唆された。また、副傷病の調査対象傷病として、糖尿病、脂質異常症、高血圧の重要性が示され、また、2014年患者調査の対象傷病の妥当性が示唆された。

一方、2014年患者調査の対象傷病以外をみると、1999年と1996年の患者調査の解析結果から、「貧血」、「気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患」、「胃炎及び十二指腸炎」、「肝疾患」、「骨の密度及び構造の障害」などで、副傷病あり割合が比較的高かった。この中で、慢性閉塞

性肺疾患（COPD）は健康日本21（第二次）における主要な生活習慣病4疾患の1つであり、また、骨粗しょう症は高齢患者の傷病状況の把握面から重要性が大きいと考えられる。また、認知症は2014年患者調査の調査対象傷病の「精神疾患」に含まれているが、高齢患者の介護状況の把握面から別に調査することが重要であると考えられる。したがって、副傷病の調査対象傷病の追加候補としては、慢性閉塞性肺疾患、骨粗しょう症、認知症などが挙げられる。

2014年患者調査では、副傷病と主傷病をクロス集計した入院・外来別推計患者数が含まれ、また、主傷病に傷病中分類が適用されていた。これが副傷病の集計表の基本と考えられ、また、傷病中分類別の主傷病があれば、各副傷病に対する重要な主傷病との合併状況が検討可能と考えられる。2014年患者調査では、それ以外の副傷病の集計表として、3疾患（糖尿病、高血圧（症）と脂質異常症）のそれぞれとそれ以外の傷病の組み合わせによる主傷病及び副傷病でみた推計患者数、および、3疾患とそれ以外の傷病の組み合わせによる主傷病及び副傷病でみた推計退院患者数などであった。副傷病として、この3疾患がきわめて重要であることから、この集計表の表章も自然と考えられる。集計項目としては、極端に小さい集計対象指標を避けることが大切であり、その面を考慮すると、2014年患者調査の副傷病に関する集計表は適切であると考えられる。一方、より詳細な集計表としては、主傷病（小分類）と副傷病別の推計患者数、入院・外来・性・年齢階級別の主傷病と副傷病別の推計患者数などが考えられる。

以上の検討結果と考察を総括し、患者調査に対する副傷病の取り扱い方法に関して提言した。提言としては、副傷病の調査の継続、現調査方式の採用、現行の調査対象傷病の継続と追加の候補、現行の集計表の継続の4項目にまとめた。

E. 結論

患者調査に対して、副傷病の取り扱い方法に関する4項目を提言した。すなわち、『(1) 傷

病の合併状況把握の重要性から、患者調査では引き続き、副傷病を調査する。(2) 副傷病の調査方法として、平成 20 年以降の患者調査の方式（調査対象の副傷病ごとに有無を調査）が適切であり、平成 29 年以降もこの方式を採用する。(3) 調査対象の副傷病として、平成 26 年患者調査の傷病は適切である。調査対象を追加する場合、慢性閉塞性肺疾患、骨粗しょう症、認知症などが候補となる。(4) 平成 26 年患者調査の副傷病に関する集計表は適切であり、引き続き表章する。』であった。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし。

2. 学会発表

- 1) 川戸美由紀, 橋本修二, 山田宏哉, 三重野牧子, 野田龍也, 今村知明, 谷原真一, 村上義孝. 患者調査の検討 第2報 副傷病の取り扱い方法の課題. 日本公衆衛生学会, 2016.

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得

なし。

2. 実用新案登録

なし。

3. その他

なし。

表 1-1. 主傷病と副傷病の推計患者数：病院と一般診療所、2014 年

傷病名	主傷病または副傷病ありの推計患者数 (千人)	主傷病		副傷病	
		推計患者数 (千人)	(%) #	推計患者数 (千人)	(%) #
全傷病	7,193.8	7,193.8	(100.0)	4,645.0	(64.6)
糖尿病	825.3	243.3	(29.5)	596.9	(72.3)
糖尿病（合併症を伴わないもの）	642.4	174.0	(27.1)	468.4	(72.9)
糖尿病(性)腎症	86.7	24.6	(28.4)	62.1	(71.6)
糖尿病(性)眼合併症	75.3	29.5	(39.2)	45.8	(60.8)
糖尿病(性)神経障害	41.2	8.8	(21.4)	32.4	(78.6)
腎症、眼合併症、神経障害以外の合併症を伴う糖尿病	25.3	6.1	(24.0)	20.0	(79.0)
肥満（症）	38.0	1.0	(2.6)	37.0	(97.4)
高脂血症（脂質異常症）	985.9	144.1	(14.6)	841.9	(85.4)
高血圧（症）	1,798.7	677.8	(37.7)	1,120.9	(62.3)
虚血性心疾患	405.7	75.0	(18.5)	330.7	(81.5)
脳卒中	429.7	253.4	(59.0)	179.0	(41.7)
閉塞性末梢動脈疾患	115.1	8.7	(7.6)	106.4	(92.4)
大動脈疾患（大動脈解離、大動脈瘤）	39.4	8.2	(20.9)	31.1	(79.1)
慢性腎不全（慢性腎臓病）	228.4	131.4	(57.5)	97.0	(42.5)
精神疾患	916.9	592.7	(64.6)	502.0	(54.7)
その他の疾患	6,384.4	5,058.3	(79.2)	3,868.0	(60.6)

#主傷病または副傷病ありの推計患者数に対する割合（％）

表 1-2. 主傷病と副傷病の推計患者数：病院と一般診療所、2011 年

傷病名	主傷病または副傷病ありの推計患者数 (千人)	主傷病		副傷病	
		推計患者数 (千人)	(%) #	推計患者数 (千人)	(%) #
全傷病	7,239.0	7,239.0	(100.0)	4,624.6	(63.9)
糖尿病	796.2	232.4	(29.2)	578.1	(72.6)
糖尿病（合併症を伴わないもの）	614.9	168.2	(27.4)	446.6	(72.6)
糖尿病(性)腎症	85.2	23.2	(27.2)	62.0	(72.8)
糖尿病(性)眼合併症	75.8	27.1	(35.7)	48.7	(64.3)
糖尿病(性)神経障害	45.2	9.1	(20.0)	36.2	(80.0)
腎症、眼合併症、神経障害以外の合併症を伴う糖尿病	24.5	4.6	(18.8)	20.3	(83.0)
肥満（症）	40.0	0.8	(2.0)	39.2	(98.0)
高脂血症（脂質異常症）	886.2	149.1	(16.8)	737.1	(83.2)
高血圧（症）	1,753.7	670.6	(38.2)	1,083.1	(61.8)
虚血性心疾患	405.1	77.4	(19.1)	327.7	(80.9)
脳卒中	460.0	283.8	(61.7)	178.5	(38.8)
閉塞性末梢動脈疾患	111.3	9.2	(8.3)	102.1	(91.7)
大動脈疾患（大動脈解離、大動脈瘤）	35.5	7.2	(20.4)	28.2	(79.6)
慢性腎不全（慢性腎臓病）	222.9	142.0	(63.7)	80.9	(36.3)
精神疾患	849.0	555.0	(65.4)	438.2	(51.6)
その他の疾患	6,453.6	5,111.4	(79.2)	3,878.1	(60.1)

#主傷病または副傷病ありの推計患者数に対する割合（％）

表 1-3. 主傷病と副傷病の推計患者数：病院と一般診療所、2008 年

傷病名	主傷病または副傷病ありの推計患者数 (千人)	主傷病		副傷病	
		推計患者数 (千人)	(%) #	推計患者数 (千人)	(%) #
全傷病	6,947.9	6,947.9	(100.0)	4,410.0	(63.5)
糖尿病	742.9	214.2	(28.8)	542.7	(73.1)
糖尿病 (合併症を伴わないもの)	574.1	154.5	(26.9)	419.6	(73.1)
糖尿病(性) 腎症	78.0	21.8	(28.0)	56.2	(72.0)
糖尿病(性) 眼合併症	64.2	22.0	(34.2)	42.2	(65.8)
糖尿病(性) 神経障害	45.3	10.9	(23.9)	34.5	(76.1)
腎症、眼合併症、神経障害以外の合併症を伴う糖尿病	30.7	4.9	(15.8)	26.1	(84.8)
肥満 (症)	39.9	1.2	(3.1)	38.7	(96.9)
高脂血症 (脂質異常症)	759.2	118.9	(15.7)	640.3	(84.3)
高血圧 (症)	1,646.1	610.1	(37.1)	1,036.1	(62.9)
虚血性心疾患	405.8	86.8	(21.4)	319.0	(78.6)
脳卒中	485.8	319.3	(65.7)	168.5	(34.7)
閉塞性末梢動脈疾患	108.9	10.9	(10.0)	97.9	(90.0)
大動脈疾患 (大動脈解離、大動脈瘤)	34.6	6.9	(19.9)	27.7	(80.1)
慢性腎不全 (慢性腎臓病)	213.1	151.1	(70.9)	62.0	(29.1)
精神疾患	800.4	565.8	(70.7)	360.6	(45.1)
その他の疾患	6,137.3	4,862.6	(79.2)	3,636.7	(59.3)

#主傷病または副傷病ありの推計患者数に対する割合 (%)

表 1-4. 主傷病と副傷病の推計患者数：病院と一般診療所、1999 年

傷病名	主傷病または副傷病ありの推計患者数 (千人)	主傷病		副傷病	
		推計患者数 (千人)	(%) #	推計患者数 (千人)	(%) #
全傷病	7,168.9	7,168.9	(100.0)	2,675.6	(37.3)
糖尿病	345.0	226.0	(65.5)	125.2	(36.3)
糖尿病 (合併症を伴わないもの)	316.4	203.6	(64.4)	113.0	(35.7)
糖尿病(性) 腎症	5.5	2.5	(46.0)	3.0	(54.0)
糖尿病(性) 眼合併症	24.1	17.6	(72.9)	6.5	(27.1)
糖尿病(性) 神経障害	3.4	1.1	(31.0)	2.3	(69.0)
腎症、眼合併症、神経障害以外の合併症を伴う糖尿病	1.6	1.1	(72.7)	0.4	(27.4)
肥満 (症)	2.1	0.8	(40.0)	1.2	(60.0)
高脂血症 (脂質異常症)	250.2	101.9	(40.7)	148.4	(59.3)
高血圧 (症)	895.5	672.6	(75.1)	223.9	(25.0)
虚血性心疾患	198.3	123.8	(62.5)	77.9	(39.3)
脳卒中	443.2	364.9	(82.3)	83.3	(18.8)
閉塞性末梢動脈疾患	25.7	13.3	(51.7)	12.4	(48.3)
大動脈疾患 (大動脈解離、大動脈瘤)	7.1	5.2	(73.1)	2.0	(27.7)
慢性腎不全 (慢性腎臓病)	88.2	78.8	(89.4)	9.3	(10.6)
精神疾患	524.4	480.1	(91.5)	58.6	(11.2)
その他の疾患	5,653.9	5,101.5	(90.2)	1,933.3	(34.2)

#主傷病または副傷病ありの推計患者数に対する割合 (%)

表 1-5. 主傷病と副傷病の推計患者数：病院と一般診療所、1996 年

傷病名	主傷病または副傷病ありの推計患者数 (千人)	主傷病		副傷病	
		推計患者数 (千人)	(%) #	推計患者数 (千人)	(%) #
全傷病	7,508.7	7,508.7	(100.0)	2,875.6	(38.3)
糖尿病	359.3	237.4	(66.1)	128.4	(35.7)
糖尿病 (合併症を伴わないもの)	332.7	216.1	(64.9)	116.8	(35.1)
糖尿病(性) 腎症	5.2	2.3	(44.5)	2.9	(55.5)
糖尿病(性) 眼合併症	22.2	16.6	(74.7)	5.6	(25.3)
糖尿病(性) 神経障害	4.1	1.4	(33.5)	2.7	(66.5)
腎症、眼合併症、神経障害以外の合併症を伴う糖尿病	1.4	1.0	(72.4)	0.4	(27.6)
肥満 (症)	2.5	1.2	(48.2)	1.3	(51.9)
高脂血症 (脂質異常症)	235.0	90.3	(38.4)	144.7	(61.6)
高血圧 (症)	995.5	739.4	(74.3)	257.2	(25.8)
虚血性心疾患	231.0	139.1	(60.2)	95.6	(41.4)
脳卒中	486.4	389.8	(80.1)	101.7	(20.9)
閉塞性末梢動脈疾患	33.2	16.6	(49.9)	16.6	(50.1)
大動脈疾患 (大動脈解離、大動脈瘤)	6.4	4.8	(74.7)	1.6	(25.7)
慢性腎不全 (慢性腎臓病)	80.1	72.6	(90.7)	7.5	(9.3)
精神疾患	501.5	465.4	(92.8)	45.7	(9.1)
その他の疾患	5,967.8	5,352.2	(89.7)	2,075.1	(34.8)

#主傷病または副傷病ありの推計患者数に対する割合 (%)

表 2-1. 副傷病の重複状況別、推計患者数：病院と一般診療所、2014 年

傷病名	副傷病の推計患者数 (千人)	他の副傷病なし		他の副傷病あり		他の副傷病の推計患者数の割合 (%) #2										
		推計患者数 (千人)	(%) #1	推計患者数 (千人)	(%) #1	糖尿病	肥満 (症)	高脂血症	高血圧 (症)	虚血性心疾患	脳卒中	閉塞性末梢動脈疾患	大動脈疾患	慢性腎不全	精神疾患	その他の疾患
全傷病	4,645.0	2,808.3	(60.5)	1,837.7	(39.6)	28.7	1.8	38.6	52.9	16.9	9.0	5.5	1.6	4.9	22.8	84.2
糖尿病	596.9	70.5	(11.8)	526.4	(88.2)	-	2.1	36.4	50.3	16.7	8.1	6.8	1.3	5.2	13.8	76.6
糖尿病 (合併症を伴わないもの)	468.4	58.7	(12.5)	409.7	(87.5)	-	1.8	36.1	46.4	14.7	7.3	4.5	1.2	3.8	14.7	77.0
糖尿病 (性) 腎症	62.1	2.9	(4.7)	59.2	(95.3)	-	3.3	37.6	70.0	28.4	11.9	17.3	1.6	11.9	10.1	72.5
糖尿病 (性) 眼合併症	45.8	4.6	(10.1)	41.1	(89.9)	-	4.3	37.3	63.0	22.3	11.2	15.2	1.2	9.5	9.3	72.9
糖尿病 (性) 神経障害	32.4	1.5	(4.5)	30.9	(95.5)	-	5.4	41.7	67.7	24.4	12.5	20.6	1.4	8.6	13.1	70.0
腎症、眼合併症、神経障害以外の合併症を伴う糖尿病	20.0	1.7	(8.5)	18.3	(91.5)	-	1.7	34.3	55.0	21.8	10.3	12.5	1.9	8.1	12.8	78.8
肥満 (症)	37.0	3.4	(9.3)	33.6	(90.7)	33.1	-	58.9	43.4	11.5	4.9	4.3	1.3	5.0	9.4	59.8
高脂血症 (脂質異常症)	841.9	133.3	(15.8)	708.6	(84.2)	27.0	2.8	-	47.4	14.6	6.4	5.2	1.3	3.8	11.3	77.3
高血圧 (症)	1,120.9	149.2	(13.3)	971.8	(86.7)	27.2	1.5	34.6	-	17.3	8.7	5.9	1.6	5.1	15.7	79.2
虚血性心疾患	330.7	20.4	(6.2)	310.4	(93.8)	28.3	1.2	33.2	54.1	-	12.9	9.4	2.6	6.3	17.4	79.0
脳卒中	179.0	13.5	(7.5)	165.5	(92.5)	25.7	1.0	27.5	51.2	24.2	-	8.0	2.3	5.7	24.0	80.2
閉塞性末梢動脈疾患	106.4	5.3	(5.0)	101.1	(95.0)	35.5	1.4	36.2	56.9	29.0	13.2	-	3.0	6.5	13.4	81.9
大動脈疾患 (大動脈解離、大動脈瘤)	31.1	2.1	(6.9)	29.0	(93.1)	23.1	1.5	31.9	53.9	28.0	13.3	10.6	-	8.5	16.6	77.6
慢性腎不全 (慢性腎臓病)	97.0	7.5	(7.7)	89.5	(92.3)	30.3	1.9	29.8	55.6	21.9	10.5	7.3	2.8	-	16.2	75.0
精神疾患	502.0	83.4	(16.6)	418.6	(83.4)	17.3	0.8	19.2	36.4	12.9	9.5	3.2	1.2	3.5	-	87.0
その他の疾患	3,868.0	2,319.8	(60.0)	1,548.2	(40.0)	26.0	1.3	35.4	49.7	15.8	8.6	5.3	1.5	4.3	23.5	-

#1副傷病の推計患者数に対する割合 (%)

#2他の副傷病ありの推計患者数に対する割合 (%)

表 2-2. 副傷病の重複状況別、推計患者数：病院と一般診療所、2011 年

傷病名	副傷病の推計患者数 (千人)	他の副傷病なし		他の副傷病あり		他の副傷病の推計患者数の割合 (%) #2										
		推計患者数 (千人)	(%) #1	推計患者数 (千人)	(%) #1	糖尿病	肥満 (症)	高脂血症	高血圧 (症)	虚血性心疾患	脳卒中	閉塞性末梢動脈疾患	大動脈疾患	慢性腎不全	精神疾患	その他の疾患
全傷病	4,624.6	2,871.5	(62.1)	1,754.2	(37.9)	28.7	2.0	35.3	53.0	17.4	9.3	5.5	1.5	4.2	20.7	84.7
糖尿病	578.1	75.2	(13.0)	502.9	(87.0)	-	2.1	31.7	50.1	16.0	8.0	6.4	1.2	4.3	12.4	76.4
糖尿病 (合併症を伴わないもの)	446.6	62.7	(14.0)	383.9	(86.0)	-	1.8	32.0	46.0	13.9	7.3	4.2	1.1	3.1	13.0	77.1
糖尿病 (性) 腎症	62.0	2.7	(4.4)	59.3	(95.6)	-	3.0	28.2	68.8	26.7	10.8	15.6	1.4	9.9	9.5	72.3
糖尿病 (性) 眼合併症	48.7	4.9	(10.1)	43.8	(89.9)	-	3.8	31.6	64.4	22.7	10.7	13.3	1.3	7.1	8.6	70.7
糖尿病 (性) 神経障害	36.2	1.5	(4.2)	34.6	(95.8)	-	5.1	37.1	66.5	24.3	11.3	16.2	1.0	6.8	11.1	68.2
腎症、眼合併症、神経障害以外の合併症を伴う糖尿病	20.3	2.1	(10.5)	18.2	(89.5)	-	1.8	28.3	55.4	19.8	9.1	12.2	1.9	7.7	13.0	76.5
肥満 (症)	39.2	4.0	(10.1)	35.3	(89.9)	29.3	-	54.3	44.4	12.1	5.1	4.2	1.1	3.9	11.1	61.1
高脂血症 (脂質異常症)	737.1	118.5	(16.1)	618.6	(83.9)	25.8	3.1	-	45.4	14.3	6.5	4.7	1.2	3.0	10.4	78.2
高血圧 (症)	1,083.1	152.8	(14.1)	930.2	(85.9)	27.1	1.7	30.2	-	17.2	8.5	5.5	1.5	4.3	13.6	79.8
虚血性心疾患	327.7	23.1	(7.0)	304.6	(93.0)	26.5	1.4	29.0	52.5	-	12.5	8.8	2.2	5.4	15.5	79.1
脳卒中	178.5	15.2	(8.5)	163.2	(91.5)	24.7	1.1	24.7	48.5	23.3	-	7.2	1.9	4.8	21.1	79.8
閉塞性末梢動脈疾患	102.1	6.1	(6.0)	96.0	(94.0)	33.4	1.5	30.3	52.9	28.0	12.3	-	2.3	5.2	12.2	82.0
大動脈疾患 (大動脈解離、大動脈瘤)	28.2	2.2	(7.7)	26.0	(92.3)	22.8	1.5	28.6	55.1	26.2	12.2	8.5	-	8.2	14.3	77.0
慢性腎不全 (慢性腎臓病)	80.9	7.5	(9.3)	73.4	(90.7)	29.4	1.9	25.5	54.0	22.5	10.6	6.8	2.9	-	14.4	76.2
精神疾患	438.2	75.4	(17.2)	362.8	(82.8)	17.2	1.1	17.8	34.9	13.0	9.5	3.2	1.0	2.9	-	85.8
その他の疾患	3,878.1	2,391.6	(61.7)	1,486.6	(38.3)	25.8	1.4	32.5	50.0	16.2	8.8	5.3	1.3	3.8	20.9	-

#1副傷病の推計患者数に対する割合 (%)

#2他の副傷病ありの推計患者数に対する割合 (%)

表 2-3. 副傷病の重複状況別、推計患者数：病院と一般診療所、2008 年

傷病名	副傷病の推計患者数 (千人)	他の副傷病なし		他の副傷病あり		他の副傷病の推計患者数の割合 (%) #2										
		推計患者数 (千人)	(%) #1	推計患者数 (千人)	(%) #1	糖尿病	肥満 (症)	高脂血症	高血圧 (症)	虚血性心疾患	脳卒中	閉塞性末梢動脈疾患	大動脈疾患	慢性腎不全	精神疾患	その他の疾患
全傷病	4,410.0	2,800.5	(63.5)	1,611.0	(36.5)	28.3	2.1	32.8	53.6	17.9	9.3	5.6	1.4	3.4	18.1	83.9
糖尿病	542.7	87.5	(16.1)	455.2	(83.9)	-	1.9	29.0	49.4	15.1	7.5	6.3	0.9	3.4	10.0	74.7
糖尿病 (合併症を伴わないもの)	419.6	68.8	(16.4)	350.8	(83.6)	-	1.7	29.3	44.9	13.3	6.5	3.9	0.9	2.4	10.4	75.5
糖尿病 (性) 腎症	56.2	5.3	(9.4)	50.9	(90.6)	-	2.2	25.8	70.0	25.6	11.6	15.8	1.1	8.0	8.0	68.4
糖尿病 (性) 眼合併症	42.2	5.0	(11.9)	37.2	(88.1)	-	2.8	27.6	65.4	19.7	10.5	14.1	1.0	5.9	7.6	69.8
糖尿病 (性) 神経障害	34.5	2.5	(7.2)	32.0	(92.8)	-	4.1	32.6	64.7	22.7	11.9	17.8	1.5	5.1	9.5	68.6
腎症、眼合併症、神経障害以外の合併症を伴う糖尿病	26.1	4.4	(16.9)	21.7	(83.1)	-	2.0	23.8	58.5	20.1	9.7	21.2	1.3	5.6	10.0	72.0
肥満 (症)	38.7	4.8	(12.3)	34.0	(87.7)	26.0	-	58.9	37.1	12.6	5.6	2.6	1.1	2.5	9.0	62.4
高脂血症 (脂質異常症)	640.3	111.3	(17.4)	529.0	(82.6)	25.0	3.8	-	44.5	13.6	6.2	4.6	1.0	2.2	8.8	76.1
高血圧 (症)	1,036.1	172.3	(16.6)	863.8	(83.4)	26.0	1.5	27.3	-	16.8	8.1	5.8	1.4	3.3	10.7	79.0
虚血性心疾患	319.0	31.0	(9.7)	288.0	(90.3)	23.9	1.5	25.1	50.4	-	12.5	7.9	2.0	4.5	12.4	77.7
脳卒中	168.5	18.6	(11.1)	149.8	(88.9)	22.7	1.3	22.0	46.6	24.1	-	7.2	1.8	3.8	17.1	77.2
閉塞性末梢動脈疾患	97.9	7.9	(8.1)	90.1	(91.9)	31.7	1.0	27.1	55.8	25.1	12.1	-	2.5	3.9	9.5	81.4
大動脈疾患 (大動脈解離、大動脈瘤)	27.7	4.4	(16.0)	23.3	(84.0)	18.4	1.7	23.4	52.0	25.0	11.4	9.5	-	5.2	10.1	74.5
慢性腎不全 (慢性腎臓病)	62.0	8.0	(12.9)	54.0	(87.1)	28.3	1.5	21.5	52.8	24.0	10.4	6.6	2.2	-	12.3	74.5
精神疾患	360.6	69.7	(19.3)	290.9	(80.7)	15.6	1.0	16.0	31.8	12.3	8.8	2.9	0.8	2.3	-	86.1
その他の疾患	3,636.7	2,285.1	(62.8)	1,351.6	(37.2)	25.2	1.6	29.8	50.5	16.6	8.6	5.4	1.3	3.0	18.5	-

#1 副傷病の推計患者数に対する割合 (%)

#2 他の副傷病ありの推計患者数に対する割合 (%)

表 3-1-1. 主傷病と副傷病の推計患者数：病院と一般診療所、1999年、傷病大分類（前半）

傷病大分類	主傷病または副傷病ありの推計患者数 (千人)	主傷病		副傷病	
		推計患者数 (千人)	(%) #	推計患者数 (千人)	(%) #
全傷病	7,168.9	7,168.9	(100.0)	2,675.6	(37.3)
I 感染症及び寄生虫症	310.2	246.3	(79.4)	69.6	(22.4)
腸管感染症	45.9	35.2	(76.7)	10.7	(23.3)
結核	19.4	17.4	(89.6)	2.3	(11.7)
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	44.3	38.6	(87.0)	5.9	(13.4)
真菌症	65.7	48.1	(73.1)	19.9	(30.2)
その他の感染症及び寄生虫症	137.3	107.1	(78.0)	30.8	(22.4)
II 新生物	390.1	351.2	(90.0)	63.8	(16.4)
(悪性新生物) (再掲)	282.6	256.7	(90.8)	45.5	(16.1)
胃の悪性新生物	52.8	46.9	(88.8)	5.9	(11.3)
結腸及び直腸の悪性新生物	46.0	40.3	(87.6)	6.0	(13.0)
気管、気管支及び肺の悪性新生物	30.3	27.2	(89.6)	3.2	(10.4)
その他の悪性新生物	163.7	142.4	(86.9)	30.4	(18.5)
良性新生物及びその他の新生物	111.4	94.5	(84.8)	18.3	(16.4)
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	70.8	34.6	(48.9)	36.7	(51.8)
貧血	58.9	26.4	(44.9)	32.6	(55.3)
その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	12.1	8.2	(67.5)	4.1	(33.5)
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	674.3	391.5	(58.1)	316.9	(47.0)
甲状腺障害	43.1	32.0	(74.2)	11.7	(27.2)
糖尿病	345.0	226.0	(65.5)	125.2	(36.3)
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	309.7	133.6	(43.1)	180.0	(58.1)
V 精神及び行動の障害	537.4	490.0	(91.2)	65.3	(12.1)
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	265.3	260.1	(98.0)	5.4	(2.1)
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	76.7	64.0	(83.5)	12.7	(16.6)
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	57.4	45.8	(79.8)	12.2	(21.2)
その他の精神及び行動の障害	151.6	120.0	(79.2)	34.9	(23.0)
VI 神経系の疾患	288.4	184.4	(63.9)	114.8	(39.8)
VII 眼及び付属器の疾患	383.7	356.0	(92.8)	167.7	(43.7)
白内障	167.5	133.9	(79.9)	33.8	(20.2)
その他の眼及び付属器の疾患	294.7	222.2	(75.4)	133.9	(45.4)
VIII 耳及び乳様突起の疾患	169.2	139.3	(82.3)	42.9	(25.4)
外耳疾患	32.2	24.1	(74.7)	9.4	(29.2)
中耳炎	76.8	64.6	(84.0)	12.8	(16.7)
その他の中耳及び乳様突起の疾患	23.8	16.9	(71.1)	7.0	(29.3)
内耳疾患	20.3	14.4	(70.8)	6.0	(29.4)
その他の耳疾患	26.0	19.3	(74.5)	7.8	(29.9)
IX 循環器系の疾患	1,621.1	1,327.6	(81.9)	501.9	(31.0)
高血圧性疾患	895.5	672.6	(75.1)	223.9	(25.0)
(心疾患（高血圧性のものを除く）（再掲）)	362.8	228.7	(63.0)	158.6	(43.7)
虚血性心疾患	198.3	123.8	(62.5)	77.9	(39.3)
その他の心疾患	175.3	104.9	(59.8)	80.8	(46.1)
(脳血管疾患) (再掲)	443.2	364.9	(82.3)	83.3	(18.8)
脳梗塞	336.0	269.3	(80.1)	67.1	(20.0)
その他の脳血管疾患	110.4	95.5	(86.6)	16.2	(14.7)
その他の循環器系の疾患	96.4	61.5	(63.8)	35.9	(37.3)

#主傷病または副傷病ありの推計患者数に対する割合 (%)

表 3-1-2. 主傷病と副傷病の推計患者数：病院と一般診療所、1999年、傷病大分類（後半）

傷病大分類	主傷病または副傷病ありの推計患者数 (千人)	主傷病		副傷病	
		推計患者数 (千人)	(%) #	推計患者数 (千人)	(%) #
X 呼吸器系の疾患	1,041.0	893.6	(85.8)	252.3	(24.2)
急性上気道感染症	411.7	342.6	(83.2)	81.0	(19.7)
肺炎	39.5	30.7	(77.8)	8.8	(22.3)
急性気管支炎及び急性細気管支炎	130.0	114.6	(88.1)	15.5	(11.9)
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	81.2	54.2	(66.7)	27.5	(33.9)
喘息	199.1	167.4	(84.1)	32.1	(16.1)
その他の呼吸器系の疾患	247.7	184.1	(74.3)	87.4	(35.3)
X I 消化器系の疾患	708.8	464.8	(65.6)	288.1	(40.6)
う蝕	10.6	9.5	(89.6)	1.1	(10.4)
歯肉炎及び歯周疾患	12.8	9.7	(76.0)	3.2	(24.9)
その他の歯及び歯の支持組織の障害	18.6	16.6	(89.5)	2.7	(14.5)
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	153.4	105.1	(68.5)	49.1	(32.0)
胃炎及び十二指腸炎	195.9	105.8	(54.0)	90.1	(46.0)
肝疾患	146.5	89.5	(61.1)	58.9	(40.2)
その他の消化器系の疾患	203.9	128.6	(63.1)	83.0	(40.7)
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	339.1	286.7	(84.6)	76.3	(22.5)
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,173.8	962.4	(82.0)	447.3	(38.1)
炎症性多発性関節障害	103.7	76.7	(74.0)	27.6	(26.6)
脊柱障害	659.5	507.4	(76.9)	192.9	(29.2)
骨の密度及び構造の障害	158.3	66.6	(42.1)	92.1	(58.2)
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	430.0	311.7	(72.5)	134.8	(31.4)
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	305.4	248.7	(81.4)	76.4	(25.0)
糸球体疾患、腎尿管間質性疾患及び腎不全	120.8	102.1	(84.5)	21.0	(17.4)
乳房及び女性生殖器の疾患	80.8	69.5	(85.9)	17.9	(22.1)
その他の腎尿路生殖器系の疾患	106.7	77.2	(72.3)	37.5	(35.1)
X V 妊娠、分娩及び産じょく	45.2	43.8	(96.9)	4.2	(9.4)
流産	3.5	3.2	(89.3)	0.4	(10.9)
妊娠高血圧症候群	1.6	1.4	(82.8)	0.3	(17.6)
単胎自然分娩	7.7	7.6	(99.6)	0.0	(0.4)
その他の妊娠、分娩及び産じょく	32.9	31.6	(96.0)	3.5	(10.8)
X VI 周産期に発生した病態	9.1	8.5	(93.5)	1.5	(16.7)
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	23.5	18.7	(79.6)	5.7	(24.2)
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	139.1	92.8	(66.7)	47.7	(34.3)
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	474.7	440.7	(92.9)	85.0	(17.9)
骨折	178.6	160.5	(89.9)	25.8	(14.5)
その他の損傷、中毒及びその他の外因の影響	310.6	280.2	(90.2)	59.1	(19.0)
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	198.7	187.2	(94.2)	11.5	(5.8)
正常妊娠・産じょくの管理	41.6	41.2	(98.9)	0.4	(1.1)
歯の補てつ	6.7	6.1	(90.7)	0.6	(9.3)
その他の保健サービス	150.4	140.0	(93.0)	10.5	(7.0)

#主傷病または副傷病ありの推計患者数に対する割合 (%)

表 3-2-1. 主傷病と副傷病の推計患者数：病院と一般診療所、1996年、傷病大分類（前半）

傷病大分類	主傷病または副傷病ありの推計患者数 (千人)	主傷病		副傷病	
		推計患者数 (千人)	(%) #	推計患者数 (千人)	(%) #
全傷病	7,508.7	7,508.7	(100.0)	2,875.6	(38.3)
I 感染症及び寄生虫症	317.2	247.7	(78.1)	75.1	(23.7)
腸管感染症	48.1	36.8	(76.5)	11.3	(23.6)
結核	21.5	18.8	(87.2)	3.1	(14.3)
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	45.4	39.1	(86.0)	6.6	(14.5)
真菌症	65.3	45.7	(70.0)	21.3	(32.6)
その他の感染症及び寄生虫症	139.7	107.5	(76.9)	32.8	(23.5)
II 新生物	399.1	361.1	(90.5)	61.7	(15.5)
(悪性新生物) (再掲)	283.8	261.4	(92.1)	40.4	(14.2)
胃の悪性新生物	58.4	53.0	(90.8)	5.4	(9.2)
結腸及び直腸の悪性新生物	47.4	42.0	(88.6)	5.6	(11.8)
気管、気管支及び肺の悪性新生物	28.8	26.1	(90.7)	2.7	(9.3)
その他の悪性新生物	159.0	140.3	(88.2)	26.7	(16.8)
良性新生物及びその他の新生物	119.4	99.7	(83.5)	21.3	(17.8)
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	79.4	40.9	(51.5)	39.0	(49.1)
貧血	67.4	32.4	(48.1)	35.1	(52.1)
その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	12.2	8.5	(69.3)	3.9	(31.5)
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	670.8	388.9	(58.0)	312.7	(46.6)
甲状腺障害	41.5	30.4	(73.2)	11.6	(27.9)
糖尿病	359.3	237.4	(66.1)	128.4	(35.7)
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	291.2	121.1	(41.6)	172.6	(59.3)
V 精神及び行動の障害	520.5	481.5	(92.5)	52.4	(10.1)
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	268.2	264.3	(98.5)	4.2	(1.6)
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	71.0	60.3	(84.9)	10.8	(15.2)
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	60.7	50.5	(83.3)	10.6	(17.4)
その他の精神及び行動の障害	130.7	106.4	(81.4)	26.9	(20.6)
VI 神経系の疾患	295.0	186.7	(63.3)	118.0	(40.0)
VII 眼及び付属器の疾患	384.8	356.5	(92.7)	172.3	(44.8)
白内障	164.6	130.8	(79.5)	34.0	(20.7)
その他の眼及び付属器の疾患	299.3	225.7	(75.4)	138.3	(46.2)
VIII 耳及び乳様突起の疾患	176.0	141.5	(80.4)	49.0	(27.8)
外耳疾患	32.5	23.9	(73.4)	9.7	(30.0)
中耳炎	77.3	64.5	(83.5)	13.5	(17.5)
その他の中耳及び乳様突起の疾患	28.1	18.2	(64.8)	9.9	(35.4)
内耳疾患	23.3	15.8	(67.8)	7.5	(32.2)
その他の耳疾患	26.1	19.1	(73.2)	8.3	(31.7)
IX 循環器系の疾患	1,789.2	1,449.3	(81.0)	591.6	(33.1)
高血圧性疾患	995.5	739.4	(74.3)	257.2	(25.8)
(心疾患（高血圧性のものを除く）（再掲）)	410.0	250.2	(61.0)	185.3	(45.2)
虚血性心疾患	231.0	139.1	(60.2)	95.6	(41.4)
その他の心疾患	191.0	111.1	(58.1)	89.7	(46.9)
(脳血管疾患) (再掲)	486.4	389.8	(80.1)	101.7	(20.9)
脳梗塞	352.3	278.8	(79.1)	73.8	(20.9)
その他の脳血管疾患	137.5	111.0	(80.8)	27.9	(20.3)
その他の循環器系の疾患	116.2	69.9	(60.1)	47.4	(40.8)

#主傷病または副傷病ありの推計患者数に対する割合 (%)

表 3-2-2. 主傷病と副傷病の推計患者数：病院と一般診療所、1996年、傷病大分類（後半）

傷病大分類	主傷病または副傷病ありの推計患者数 (千人)	主傷病		副傷病	
		推計患者数 (千人)	(%) #	推計患者数 (千人)	(%) #
X 呼吸器系の疾患	1,083.4	917.9	(84.7)	276.9	(25.6)
急性上気道感染症	424.2	347.5	(81.9)	91.4	(21.6)
肺炎	38.9	29.9	(76.9)	9.1	(23.2)
急性気管支炎及び急性細気管支炎	134.3	117.9	(87.8)	16.3	(12.2)
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患	93.7	64.1	(68.4)	30.3	(32.3)
喘息	204.2	171.7	(84.1)	32.7	(16.0)
その他の呼吸器系の疾患	255.8	186.7	(73.0)	97.2	(38.0)
X I 消化器系の疾患	856.2	564.1	(65.9)	344.4	(40.2)
う蝕	9.8	8.7	(88.7)	1.1	(11.3)
歯肉炎及び歯周疾患	18.3	15.6	(85.7)	2.7	(15.0)
その他の歯及び歯の支持組織の障害	18.3	16.9	(92.2)	1.9	(10.2)
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	193.6	134.0	(69.2)	60.1	(31.1)
胃炎及び十二指腸炎	255.1	138.6	(54.3)	116.6	(45.7)
肝疾患	184.1	110.6	(60.1)	75.4	(40.9)
その他の消化器系の疾患	218.6	139.7	(63.9)	86.5	(39.6)
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	320.7	267.7	(83.5)	76.6	(23.9)
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,280.4	1,036.1	(80.9)	479.3	(37.4)
炎症性多発性関節障害	114.7	85.1	(74.2)	30.3	(26.4)
脊柱障害	707.7	540.3	(76.3)	206.4	(29.2)
骨の密度及び構造の障害	185.3	86.6	(46.7)	98.8	(53.3)
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	451.9	324.1	(71.7)	143.7	(31.8)
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	319.7	260.1	(81.4)	79.0	(24.7)
糸球体疾患、腎尿管間質性疾患及び腎不全	115.3	97.7	(84.7)	18.9	(16.4)
乳房及び女性生殖器の疾患	91.3	78.6	(86.1)	19.5	(21.3)
その他の腎尿路生殖器系の疾患	116.2	83.8	(72.1)	40.6	(34.9)
X V 妊娠、分娩及び産じょく	45.8	44.7	(97.5)	4.4	(9.7)
流産	3.4	3.2	(94.3)	0.2	(6.2)
妊娠高血圧症候群	2.2	1.8	(83.9)	0.4	(16.5)
単胎自然分娩	8.9	8.9	(99.8)	0.0	(0.2)
その他の妊娠、分娩及び産じょく	32.1	30.8	(95.9)	3.9	(12.0)
X VI 周産期に発生した病態	9.0	8.5	(94.5)	1.6	(17.4)
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	25.7	20.6	(79.8)	6.2	(24.1)
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	153.3	105.1	(68.6)	49.5	(32.3)
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	464.9	434.2	(93.4)	75.9	(16.3)
骨折	167.8	151.9	(90.5)	22.7	(13.5)
その他の損傷、中毒及びその他の外因の影響	311.8	282.2	(90.5)	53.1	(17.0)
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	206.0	195.9	(95.1)	10.1	(4.9)
正常妊娠・産じょくの管理	48.6	48.4	(99.5)	0.2	(0.5)
歯の補てつ	8.7	8.1	(92.7)	0.6	(7.3)
その他の保健サービス	148.6	139.4	(93.8)	9.2	(6.2)

#主傷病または副傷病ありの推計患者数に対する割合 (%)

表 4. 患者調査に表章された副傷病に関する集計表の集計項目：2014 年

集計の指標	集計の傷病分類項目	その他の集計項目
推計患者数	副傷病×主傷病（傷病分類）	入院・外来
	副傷病×主傷病（傷病中分類）	入院・外来
推計患者数	精神疾患（副傷病）の有無×傷病分類	性・年齢階級×入院・外来
推計入院患者数	精神疾患（副傷病）の有無×傷病分類	入院期間
主傷病及び副傷病でみた 推計患者数	3疾患の組み合わせ	性・年齢階級
	糖尿病と主傷病及び副傷病の組み合わせ	性・年齢階級×入院・外来
	高血圧（症）と主傷病及び副傷病の組み合わせ	性・年齢階級×入院・外来
	脂質異常症と主傷病及び副傷病の組み合わせ	性・年齢階級×入院・外来
	3疾患と主傷病及び副傷病の組み合わせ	性・年齢階級×入院・外来
	主傷病及び副傷病	性・年齢階級×入院・外来
主傷病及び副傷病でみた 推計退院患者数	3疾患と主傷病及び副傷病の組み合わせ	転帰
	3疾患と主傷病及び副傷病の組み合わせ	在院期間

3疾患：糖尿病、高血圧（症）、脂質異常症

表 5. 患者調査に対する副傷病の取り扱い方法に関する提言

<p>提言</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 傷病の合併状況把握の重要性から、患者調査では引き続き、副傷病を調査する。 (2) 副傷病の調査方法として、平成 20 年以降の患者調査の方式（調査対象の副傷病ごとに有無を調査）が適切であり、平成 29 年以降もこの方式を採用する。 (3) 調査対象の副傷病として、平成 26 年患者調査の傷病は適切である。調査対象を追加する場合、慢性閉塞性肺疾患、骨粗しょう症、認知症などが候補となる。 (4) 平成 26 年患者調査の副傷病に関する集計表は適切であり、引き続き表章する。
<p>提言の理由</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 健康増進対策の対象傷病として、生活習慣病が中心的である。生活習慣病の中で、糖尿病や脂質異常症などは主傷病よりも、副傷病となることが少なくない。傷病の合併状況把握として、患者調査での副傷病の調査の重要性が一層高まっている。 (2) 副傷病の調査方法として、傷病名 1 つを調査（平成 11 年以前：旧方式）、特定傷病の有無を調査（平成 20 年以降：現方式）が代表的である。副傷病あり割合の高さから、旧方式よりも現方式の方が妥当であると考えられる。 (3) 調査対象の傷病として、傷病量、副傷病あり割合、保健医療対策の面からみて、糖尿病や脂質異常症などの平成 26 年患者調査の傷病が適切と考えられる。調査対象を追加する場合、把握対象として生活習慣病の面から慢性閉塞性肺疾患が、高齢患者の面から骨粗しょう症、認知症などが候補と考えられる。 (4) 平成 26 年患者調査の集計表により、副傷病に関する重要な基礎的な情報が入手できると考えられる。より詳しい情報としては、主傷病（小分類）と副傷病別の推計患者数、入院・外来・性・年齢階級別の主傷病と副傷病別の推計患者数などがある。